

禅研究所開所五十周年記念特輯 刊行のことば

愛知学院大学学長
禅研究所所長 佐藤悦成

当研究所は今年度、開所五十周年・坐禅堂開単三十五周年を迎え、平成二十七年十一月十六日に、大本山永平寺監院佐藤好春老師、大本山永平寺名古屋別院監院井上義臣老師、愛知県選出宗議会議員神野哲州老師、椋山女学園大学学長森棟公夫先生、曹洞宗総合研究センター所長大谷哲夫先生、愛知県第一宗務所曹洞宗青年会会長加藤貴啓師などのご来賓のご臨席をいっただいで記念式典を厳修し、また、駒澤大学名誉教授・大本山永平寺西堂奈良康明先生には記念講演会の講師をお勧めいただき、記念行事を盛大に執り行うことができました。

当研究所は本学の建学の精神である「行学一体・報恩感謝」を学内・学外に発揚するとともに、禅の教えを弘めることを目的に、昭和四十年（一九六五）に設立され、昭和五十五年（一九八〇）には本格的な坐禅堂も建設されました。設立以来五十年の間、当研究所は本学の精神的支柱として活動を続けてまいりました。

が、それは多くの方さまのご理解・ご協力があったことです。

その折、当研究所の所員・研究員が研究成果を世に問う『禅研究所紀要』が、開所五十周年の記念特輯号として刊行されることとなりました。例年に増して多くの先生方から論文を寄稿していただき、今年度の記念事業の掉尾を飾ることができたと思います。当記念号が、当研究所の研究活動の推進力となり、我が国のみならず全世界の禅文化宣揚の一助になるよう祈念いたします。

平成二十八年三月